

## 新任医師紹介



小児科部長  
塩手裕子

4月より赴任させて頂きました。これまで広島市立安佐市民病院に勤務し、小児医療を専門と致しており、病気の子供達が元気になって笑顔で帰っていくのを見るのが喜びです。当地の地域に根ざしたあたたかい医療に貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科副部長  
高田剛志

はじめまして。4月より整形外科に赴任する事になりました。これまで広島大学病院、広島市民病院、東広島医療センター、ATOSクリニック(ドイツ)で診療や手術を行ってきました。膝関節外科(膝の軟骨・半月板・靭帯)に加えて、腰や肩の痛みなどの整形外科一般の疾患を専門としております。患者さんの気になる症状に対して、分かりやすい説明と治療を心がけております。日常の関節の痛み、怪我、スポーツ障害などでお困りの方は、いつでもご相談ください。これからどうぞよろしくお願い致します。



## 禁煙外来をご利用ください

「禁煙したいけど、なかなかやめられない。」「タバコをやめれば体にいいのはわかっているけど、やめる自信がない。」などでお悩みの方はおられませんか？

禁煙外来は完全予約制で木曜日・金曜日の14時から16時におこなっており、12週間のうち5回受診していただきます。費用は3割負担の方の場合、飲み薬で約2万円、貼り薬で約1万5千円です。

## 禁煙外来利用者インタビュー

48歳男性 喫煙歴は1日30本を35年間、昨年10月から禁煙外来を受診されました。

禁煙しようと思った動機は、「最近息がしんどくなったし、体力の衰えを感じる。」ということでした。

飲み薬で治療を開始しましたが、最初の1ヶ月半は、周囲がほとんどヘビースモーカーのため、すごく我慢するのがしんどかった。でも、タブレットやガムで気をまぎらわしたりしているうちに、吸わないのが当たり前ようになってきたし、自分でコントロール出来るようになってきた。

禁煙してよかったことは、ほんまに体が楽になったことと、喫煙場所を探さなくてすむようになったこと。

ある日喫煙ルームから漏れ出る煙を「臭い。」という、一緒に出かけていた奥様が「あんた不思議なことをいうねえ。今まであそこで吸ってたのに。」と笑いながら言われたそうです。

禁煙は体に良いだけでなく、ご家族にも社会にも貢献できるひとつのボランティアだと思いませんか？

ご興味のある方は内科外来までご相談ください。

禁煙支援士 内科外来看護師 池淵美樹



## 自分の最期を考えること

3月12日土曜日、東広島市安芸津支所にて117名の参加をいただき医療公開講座を開催いたしました。講演のテーマは、北広島町雄鹿原診療所の東條環樹所長による「いきいきと生きて逝くために」～自分の最期を考えること～でした。

病院で最期を迎えることがあまりにも普通になった現在、死を日常として感じられない状況にあります。しかしそんな中で、どんなに深刻な病気でそれが進行しても「住み慣れたわが家で家族とともに過ごしたい」その思いを叶えられたご本人・ご家族の事例を聞くことができました。在宅看取りにおいては、ご本人・ご家族・医療・介護等関わる全ての方が同じ思いであることが必要であり、在宅医療の場における主役はご本人とご家族で、特に医療者の介入の必要性は限られていることを理解しました。

講演の冒頭、先生からの問いかけに対し「自宅で死にたいが実際には死ねないと思っている」という意見が多数を占めていました。しかし講演が終わり同じ問いかけをすると「自宅で死にたい実際に死ねると思う」という意見が多数となり意識の変化が伺えました。

今後は“地域で過ごしたい”その思いを叶えるため在宅・施設ケアが重要となり、あなたが住みたい地域づくりを行うことの必要性を学ぶことができました。

アンケートの意見では

- ・講演を聞きますます家で最期を迎えたいです。
  - ・元気なうちは在宅療養を支える支援者として過ごし、将来は自分も在宅療養し最期を自宅で迎えることができたらと思っています。
  - ・県病院がこんなに楽しく明るく、そして地域住民の健康を真剣に考え取り組んでいることがわかりありがたく思いました。地域に根ざした安芸津病院の役割がよくわかりました。
- などたくさんの意見を聞くことができ、今後さらに在宅療養を支える取り組みを強化していきたいと思えます。

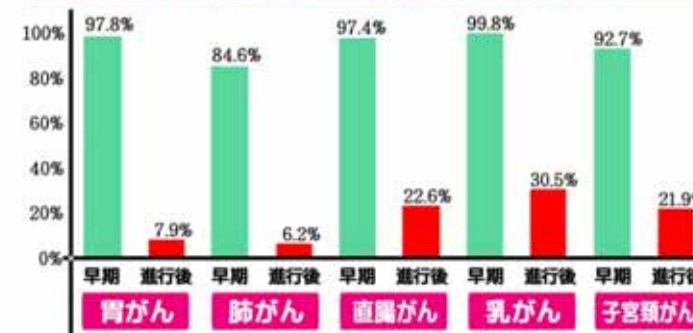
地域医療連携室 看護師長 岡賢美



東條環樹所長

## 『がん検診』を受けましょう！

早期発見がんと進行後がんの5年相対生存率



がんは広島県では昭和54年から死因の第1位、平成24年には年間8200人の方ががんで亡くなっていますが、診断と治療の進歩により、早期に発見できれば多くの方が治るようになってきました。

がん検診は、早期にがんを発見する唯一の方法です。当院では、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの5つ全てのがん検診を実施しています。まずは医事課にご相談ください。

## 編集後記

例年より早く咲き始めた桜の花は、暑さや寒さに耐えながらその時を待ち、誇らしそうに満開を迎えました。さくらの語源には諸説あるのですが、一つにこんな事が言われています。さくらの「さ」は「サ神様」(田の神様)の意味で、「くら」は神様の座る台座「御座」(みくら)とありました。農耕をつかさどる神様(サ神様)が種まき頃、山から降りてきてその木(さくらの木)に座って、収穫時まで見守るとい言い伝えでした。日本昔話の情景のようで、安芸津の地が農耕の神様に守られているようです。病院では新しい職員も迎えました。今年度も職員一丸となって地域の皆様の健康と暮らしを支えるために力を尽くしますのでよろしくお願い致します。

副院長 重松静香

